

NEWS LETTER



京都教育大学
附属教育実践センター機構
教育支援センター

Kyoto University of Education
Organization of Educational Research and Practice Centers
Educational Support Center

第36号(2017.10.2)
http://cert.kyokyo-u.ac.jp/

京都市立凌風学園リーダー講習会について

8月10日(木)に京都市立凌風学園のリーダー講習会が未来教室対応・高度化授業研究室で開催されました。この講習会の目的は、児童生徒会活動の中心となる集団の確立をめざし、リーダーとしての意識と技能を高めること、リーダーの心構えについて基本的事項を学ぶとともに、今後の児童生徒会活動の活性化を図ることを目的として開催されており、今回は、高等部生徒(7~9年生)40名と学園教員16名、本学学生ボランティア12名の参加がありました。

凌風学園では、自分たちの学園を「誇れる学園」にするために毎年いろいろなテーマを決めて取り組まれており、リーダー講習会では凌風学園の児童生徒会の代表(希望者)がテーマに沿った講義を聴き、ワークショップを行いました。今年度は『風を一つに~未来に向かって架ける虹~』をテーマとし、キーワードを『“つながり”と“時間”』として、「個人個人が時間を大切にすること」と「みんなで過ごす時間を大切にすること」の2つをつなげて、全校でどのように取り組んでいくのかを考えました。

最初に、自らの時間への意識の振り返りを行い、大事に時間を使うとはどういうことかについて話し合いました。そして、学生ボランティアから「時間の使い方」についての経験談を語ってもらいました。

昼休みには食堂にいる学生に「自分にとって、仲間にとっていい時間とは何か」というインタビューを行い、午後からはそれらを受けて、「時間を大事に使うために」というテーマで話し合いが行われました。そして話し合い、経験談、インタビューをもとに3~4名で意見を出し合い、全校で取り組むための企画書を作成していきました。1グループ毎に学生ボランティアが活動に参加し、生徒たちの「学園をよりよくしたい」という熱いおもいに答えようと一生懸命にアドバイスをを行いました。これらのことが現場に出た時の大切な経験の一つになると考えています。

今年で創立6年目となる凌風学園のリーダー講習会は、年々参加する生徒、教員の数が増えており、「自分たちの学園のために」という意識が広がっているようで、生徒と教員が一体となり、よりよい学園づくりに取り組んでいることの素晴らしさを感じます。



幼児教育専攻学生による board deco

機構棟玄関正面の貼り絵は、季節とともに変わります。かわいらしい貼り絵を見に来てください。



「夏野菜たちの水あそび」



「楽しいお月見」

